



2020・12・21

第 395 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

学術会議攻撃で軍事研究に道開くな

学問の自由侵害は戦争への道

【岐阜県／岐阜・九条の会】

岐阜市で太平洋戦争開戦の日の12月8日、元中部学術会議幹事の吉田千秋さん（元岐阜大学教授）を講師に「学術会議問題」を考えるつどいが開かれ14人が参加しました。岐阜・九条の会「サロン・9条例会」主催。

吉田氏は「学術会議問題を通して学問・思想の自由を考える」と題して講演し、太平洋戦争から79年の8日、各紙の社説や読者の声、潮流などを紹介し、学問や言論、表現の自由に対する弾圧が戦争への道につながったことを指摘しました。

学術会議のカナメは「軍事研究をしない」であり、政権の人事介入は学者だけでなく、環境保護団体からも反対の声が上がり、国民全体にかけられた攻撃だと指摘。「憲法の学問の自由（第23条）は、国からの干渉を受けずに自由に学問や研究をすることであり、そこが侵されると非常に危険な道へ進む。大学の自治を守るために研究者や学者が市民と共に声をあげることだ」と強調しました。

参加者から、「学術会議問題は生活に関係ないと思っている人にどう語りかけたい

自民 PT が学術会議改革構想

自民党・学術会議の在り方に関するプロジェクトチームの塩谷立座長は15日、菅首相に、同チームがまとめた提言書を手渡しました。提言書は、2023年をメドに学術会議を政府から「独立した法人格」の組織にするとしつつも、「『政策のための科学』の機能を強化」し「政策立案への貢献」を求め、会員の選出は企業・産業界から登用を求めると、あからさまに学問を政府・財界に従属させる内容となっています。

提言を受け取った菅首相は、国民の批判の広がりにもかかわらず、「学術会議については国民の多くは知らなかったと思うが、だんだん分かってきたのではないかと全く無反省の対応をした」といいます。

いか」「学者の声や意見は市民にとって励まされる存在だ。子どもたちも影響を受けるので継続して声をあげて欲しい」などの意見が出されました。

自衛隊明記に反対投票が6割

【奈良県／平城ニュータウン九条の会・

奈良市九条の会交流会】 12月9日近鉄高の原駅で平城ニュータウン九条の会と奈良市九条の会交流会、蟻の会が「憲法9条を守ろう」と街頭宣伝を行いました。

今回は、前日12月8日が開戦記念日ということもあり、実際に奈良でも空襲を体験された釣りの会の大木稔さんに「一瞬で家屋や命を奪われる恐怖と再び戦争は許してはいけない」と語っていただきました。下校している高校生や大学生は、体験談を聞きながら手渡されたチラシを呼んでいました。沖縄の小学生が詠んだ「へいわってすてきだね」の詩と長谷川義史さんの絵によるチラシの受け取りもよく150枚を配りました。

シール投票「憲法9条に自衛隊を明記しようとしています」に反対が6割。特に高校生が自分たちに関わってくる問題ととらえ、「俺たち行かない、死なない！」と答える高校生もいました。小学生が「戦争に行く！」と笑いながら答えたので、「戦争ってそんな笑いながら言うもんじゃないよ。今、おじさんが戦争のことを語っているから聞いてきたら」というと真顔になったそうです。大人の責任で憲法9条を守ることの使命を思いました。

蟻の会の方々によって「青い空」「we shall over come」などの歌声と力強い太鼓の響きが、第二次世界大戦で亡くなられた方々への鎮魂歌となりました。そして、「平和を守るという決意が世界中に広がれ」と参加した27名は、署名やシール投票、チラシ配付、演奏やトークなどで訴えました。戦争が隣にいる怖さ、若い世代に伝えたい。

戦争が隣にいる怖さを実感

【埼玉県朝霞市／あさか・九条の会】 講師に武器取引反対ネットワーク代表の杉原浩司さんを招き、12月6日、講演会「敵基地攻撃能力とは何か」を朝霞市立図書館で開催しました。コロナ禍にも関わらず、用意したイスは満席となりました。

講演終了後の小グループでの話し合い、アンケートによる感想の中から参加された方の声を紹介します。

Aさん この敵基地攻撃能力という事を知らずに今日の話聞いてビックリ。本当に恐ろしい。憲法があるのに、9条があるのに。日本の政治家は何をしているのか。「二度と戦争はイヤ」だとの声をどう受け止めているのか。でも市民の声が大事とのこと、諦めないでやります。(会員)

Bさん 「まだ間に合う!!」を励みにします。間に合わせましょう!! (会員・60歳以上)

Cさん とてもわかりやすかった。資料や数字が具体的でとても良かった(60歳以上)

Dさん 大変わかり易く良かったです。今のこの状況を知りませんでした。市民が強くなれば止められる! この言葉に勇気づけられました(会員・60歳以上)

Eさん 詳しく話が聞けて良かった。むずかしい課題ですが、戦争が隣にいるという怖さを感じました。若い世代に伝えて行きたいです。(60歳以上)

(あさか・九条の会 犬野良夫)

地道に活動続けることの大切さ

【徳島県／九条の会徳島】

九条の会徳島は9日早朝、JR徳島駅南の国道交差点で、毎月定例のスタンディング宣伝を行い「I ♥ 憲法」や「守ろう憲法」などのプラスターや横断幕を掲げてアピールしました。

参加した徳島市の北浦直和さん(28)は、「二度と戦争をさせないために、憲法は絶対に変えてはいけません。地道に運動を続けていきたい」と決意を込めました。

同市の男性(50)は「(野党が要求しても)国会も開かないなど、憲法を守らない政権に、憲法を変える資格はない」とのべ『桜』問題でも疑惑をもみ消し、権力を私物化している。権力者たちにとって都合のいい国にしようとする狙いが透けて見える」と怒りを込め語りました。

9条守り続ける意義かみしめる

【青森県／青森県九条の会】 青森県九条の会は7日昼、青森市の新町商店街で「改憲NO! 改憲発議に反対する緊急署名」を広げる街頭宣伝・署名行動に取り組みました。

12人が参加し、リレートークで「9条改憲は許さない」「あなたの署名は戦争する道を止め、平和を築く力になります」と訴え署名を呼びかけました。

1942年生まれ男性が署名し、「戦後生まれで戦争体験はありませんが、日本国憲法と9条があったから私は生きてこられたと思っています。時代が変わっても憲法は変えないで欲しい」と語りました。

署名した元気な88歳の女性は、「安倍首相が辞めて良かったけど、菅首相も同じ政治だな。安倍さんの時から、政治の形が変

わった気がする。まともな政治にしないといけない」と力を込めました。

街頭では、「戦争はダメ。3歳の孫のために署名」(64歳・男性)、「9条があることが日本のいいところ」(50代・女性)など思いを込めた署名が続きました。

78回目のランチタイム・デモ

【和歌山県／憲法9条を守る和歌山弁護士会】 すっかり冬の装いとなった寒い晴天の12月7日、第78回「憲法の破壊を許さないランチタイムデモ」(呼びかけ「憲法9条を守る和歌山弁護士の会」)が行われ、50名の市民が参加しました。

今回は森亮介弁護士がコーラーを務められました。森弁護士には今年9月に開催した「九条の会・わかやま」の連続講座で講師を務めていただきました。

参加者は和歌山城西の丸広場から京橋プロムナードまで、森弁護士のコールに合わせて、「戦争する国ぜったい反対」「9条守れ」などを訴えて行進しました。

今後の予定は、1月13日(水)、正午、西の丸広場集合、12時20分出発です。

(「九条の会・わかやま」415号)

一人から出来る運動も

【北海道北広島市／北広島九条の会】

11月8日(日)団地住民センターで第80回例会を開きました、コロナ感染の新たな拡大から急遽25名の人数制限での開催となりました。

弁護士の神保大地さんは、安倍政権の問題点から振り返り、それが日本社会にもたらした状況、またコロナ禍とその無策でさ

らに明らかになったことなどを踏まえ、野党共闘との連携を含めたこれからの市民運動について、まず一人からでもできる運動のヒントなど多岐にわたり力強く、歯切れのよい語り口でお話しされました。（北広島九条の会九条だより第156号より抜粋）

菅政権が継承するアベノミクス

【神奈川県／九条かながわの会】 九条かながわの会主催の9条学校が11月20日横浜開港記念館で行われました。10月に相模原で予定されていた大集会がコロナ禍で中止になったため、急遽ZOOMを併用して行われました。

最初に神奈川新聞社の田崎基さんが「菅政権が継承するもの」をテーマに講演、憲法改正とアベノミクスはパッケージで、菅政権が継承するのはこの2点。憲法議論の単純化と迅速化、心情に訴える戦術でとにかく自衛隊を合憲化する。アベノミクスは2%の物価上昇を目標にしたが、6度も目標を先送り、ツケを増やしつづける経済。

菅政権がこのまま安倍政治を継承すれば、高齢者の孤独死が増えるなど、戦争でない形で日本は敗戦を迎える。

次に一橋大学名誉教授の渡辺治さんが「菅政権下の政治と改憲問題」について講演。安倍政治を継承する菅政権は、新自由主義の強行、「敵基地攻撃論」での9条改憲を目論む。維新や新国民民主などを取りこみ、9条以外からの改憲を行う「憲法審査会」の開催などを進める。

最後に九条かながわの会事務局代表の岡田尚さんが行動提起をおこないました。

（大友三昭「あつぎ・九条の会」12月抜粋）

〔全国首長九条の会の活動報告〕

イージス断念させた秋田県民！

元横手市長 千田 謙蔵

私と憲法とは切っても切れない縁です。

菅政権が「憲法23条 学問の自由」に手をかけたのです。

68年前、東大ポポロ事件で、地裁無罪・高裁無罪・最高裁やり直しなど計6回、20年の裁判で奮闘しました。結果は執行猶予。でもその前後20年も私は市長をしていたのです。

そして安倍総理が出現し「集団的自衛権」を閣議で強行し、その翌日はなんとというタイミングでしょう。私たちの「東北6県市町村長九条の会連合」の結成日で、私が議長でテレビ・新聞の質問殺到にあいました。安保法・共謀法などが次々と強行され、私たちも署名やデモ行進・ビラ入れ・街頭スピーチなど、いわば安倍総理の個人的願望というか執着につきあわされ、全く悔しい思いです。

そして、秋田県民のイージス・アショアへの2年半におよぶ反対運動はついに配備断念をかちとりました。

度重なる住民説明会で、ブースターは海上落下するどころか、北ミサイルを「追尾」するとの答弁を引き出し、山の仰角の誤り、防衛省幹部の居眠りの発見など、特に秋田魁新報社長の署名意見・県議会の外国現地調査など、まさに全県あげての大運動がこの成果をかちとったのです。

私も老骨に鞭打ってがんばるつもりです。

（「全国首長九条の会ニュース」第10号）